

東讃ブロックの「5月中の主日ミサ」を非公開ミサとすることの通達

2021年5月13日 現在

コロナウイルス変異株の猛威により 感染が全国各地へと急速に拡大し続けている中、香川県の5月11日現在の新規感染者数56人、直近1週間の累積新規感染者は323人に上り、過去最高を更新しており、医療のひっ迫具合を示す国のステージⅣの目安50%を超える水準となり、非常に厳しい状況に置かれています。

以下、浜田知事の通達です。

5月9日（日曜日）から「緊急事態対策期」に移行し、本県独自の「香川県コロナ非常事態宣言」を発令する中で、さまざまな感染拡大防止に取り組んでいますが、厳しい感染状況を踏まえ、より一層の対策を講じます。人の流れを抑制し、人と人との接触の機会を減らすことにより、感染リスクの低減を図ることが極めて重要であるため、不要不急の外出自粛を徹底するとともに、集客施設に係る事業者の皆さまには、次のことにご協力いただくようお願いいたします。

さらに12日、知事は「依然として新型コロナウイルスの感染の落ち着きが見られず、かなり高い水準で続いている。あす以降改善するかもしれないが、今の事態でそれを待っている訳にはいかない」と述べました。よって香川県は、新型コロナウイルスの新たな感染者の数が高止まりしているとして12日政府に対し、「まん延防止等重点措置」の適用を要請しました。

- 業種別ガイドラインの遵守徹底を。
- 施設の入場者の整理・誘導、人数管理・人数制限などの徹底を。
- 入場整理等を行っている旨をホームページ等で周知を。
- ポイントデーなど、集客イベント実施の自粛を。
- 特に、感染が広がっている地域における大規模な集客施設では、営業日や営業時間の見直しを含め、感染リスクを引き下げる適切な対策を。

以上を鑑み、香川県東讃ブロック4教会の主日ミサを5月16日（主の昇天）から5月中の主日ミサを非公開にいたします。6月以降は感染状況の推移に応じて通達いたします。なお「非公開ミサ」とは、信徒の参加しないミサのことです。ご理解とご協力よろしくようお願い申し上げます。

2021年5月14日（金） 東讃ブロック司牧者チーム

西川助祭 カンバラ神父 松永神父 諏訪司教